

社会福祉法人かるべの郷福祉会  
令和5年度事業報告



社会福祉法人 かるべの郷福祉会

	事業所名	事業種別	住所	定員	頁
	本部拠点区分				
	法人本部		養父市十二所 871		1P
	あじさい拠点区分				
	養護老人ホームかるべの郷あじさい	特定入居者生活介護	養父市十二所 871	50名	7P
	さざんか拠点区分				
	特別養護老人ホームかるべの郷さざんか	老人福祉施設	養父市十二所 871	50名	9P
	かるべの郷さざんか短期入所生活介護事業所	短期入所（介護予防を含む） 短期入所（障がい）	養父市十二所 871	13名	
	かるべの郷デイサービスセンター	通所介護 通所型介護予防サービス 基準該当生活介護（障がい）	養父市十二所 871	60名	14P
	かるべの郷花笑み倶楽部	通所型生活機能向上サービス	養父市十二所 871	10名	18P
	『KARUBE・GARDEN LIVING』 ・かるべの郷短期入所生活介護事業所 ・かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所	短期入所（介護予防を含む） 認知症対応型共同生活介護 （介護予防を含む）	養父市十二所 906-1	20名 18名	19P 21P
ホ ー ム ケ ア	介護職員の養成等事業 ・かるべの郷実務者研修 ・かるべの郷喀痰吸引等研修		養父市十二所 871	15名 10名	24P
	ドリームワークス拠点区分				
	『KARUBE・TREE×TREE』 かるべの郷居宅介護支援事業所	居宅介護支援	養父市上箇 153-1		25P
	高齢者相談センターやぶ	（養父市の委託事業）	養父市上箇 153-1		28P
	高齢者相談センターようか	（養父市の委託事業）	養父市八鹿町八鹿 1576		30P
	相談センターpolaris	（養父市の委託事業）	養父市八鹿町八鹿 1576		32P
	かるべの郷ホームヘルパーステーション	訪問介護 訪問型介護予防サービス 訪問型生活機能向上サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護（障がい）	養父市広谷 83		35P
チ ヤ レ ン ジ ド	かるべの郷ドリームワークス	就労継続支援 B 型	養父市広谷 83	55名	37P
	かるべの郷ドリーム相談所	一般相談（地域移行・地域定着） 特定相談（計画相談）	養父市広谷 83		39P
	かるべの郷ドリームブリッジ	自立生活援助	養父市広谷 83		46P
	かるべの郷グループホーム夢一	共同生活援助	養父市上箇 438-1 養父市上野 1347 B106 養父市上箇 438-1 養父市上野 1347 B207 養父市広谷字下町 115	8名 1名 10名 1名 7名	47P
	かるべの郷多機能型事業所ドリームスペース	就労継続支援 B 型 生活介護	養父市八鹿町八鹿 1576	14名 6名	49P
	かるべの郷放課後等デイサービス	放課後等デイサービス	養父市八鹿町八鹿 1576	10名	51P

# 令和5年度 社会福祉法人かるべの郷福祉法人事業報告

## I. 令和5年度の主な事業

- ・新卒1名を含め17名の職員を採用。退職者は22名であり、令和6年4月1日現在の職員数は194名となった
- ・経営組織のガバナンス（統治）の強化と公益性の担保のため、評議員会・理事会を開催し、法令遵守に努めた
- ・かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所、かるべの郷ドリームスペース及びかるべの郷放課後等デイサービスが養父市と県の実地指導を受けたが、特に指摘事項はなかった
- ・地域との共生と人材育成を意識し、地域社会に貢献できるよう様々な事業に取り組んだ
- ・船井総研のアドバイスを受けながら、次年度から実施する新たな評価制度を職員が作成した
- ・キャリアアップ制度に基づき定期的な評価と面接を実施し、個々の職員の目標を明確にした
- ・主任研修を実施し、資質向上に努めた
- ・各事業所が毎月の収入を入力し、自分たちの経営状況の把握及び経営状況の改善に努めた
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び感染対策に取り組んだ
- ・事業所内でコロナウイルス等感染症が発生したが、感染拡大に努め適宜行政に報告した
- ・障害者雇用について

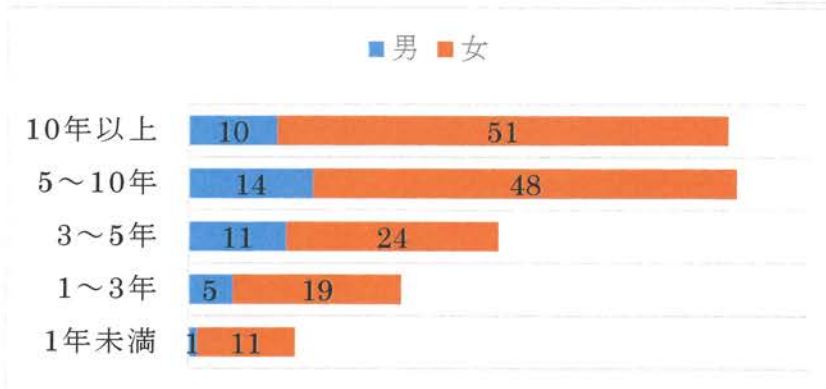
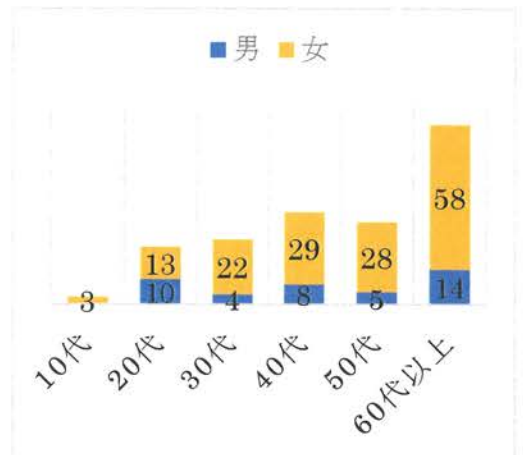
介護助手2名及びピアサポーター3名を雇用している。（平均勤続日数 2374.6日）

- ・男女共同参画社会の推進について

	男性職員	女性職員
全体の人数	41人	153人
正規職員	24人 (58.5%)	53人 (34.6%)
主任以上の役職者	7人 (17.1%)	10人 (6.5%)

- ・育児休業を8名（内男性1名）が取得した。

- ・勤続年数について



## II. 概要

### 1. 組織

#### (1) 理事会・評議員会

理事 定員6名 評議員 定員7名 監事 定員2名 欠員なし

#### (2) 理事会・評議員会開催状況

令和5年度理事会

	開催日	議案
	書面開催	かるべの郷グループホーム夢四工事の契約について
	書面開催	2023年度 JKA 福祉機器の整備補助金受諾について
	書面開催	1. グループホーム夢四工事の契約について 2. エヌデーソフトウェアの更新について 3. 資金借入れについて
第1回	令和5年5月29日	1. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和4年度事業報告(案)について 2. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和4年度決算報告(案)について 3. 第10期理事・監事候補の選任について 4. 社会福祉法人かるべの郷福祉会次期評議員会の開催について 5. 運営規程の変更について(かるべの郷デイサービス定員変更) 6. JKA 補助金による特浴槽購入に係る入札について 報告事項: 理事長の職務の執行の状況
第2回	令和5年6月20日	1. 第10期理事長の選任について 報告事項: 理事長の職務の執行の状況
第3回	令和5年12月4日	1. 給与規程の変更について 2. 運営規程の変更について(かるべの郷グループホーム夢四の追加) 3. 実地指導の結果について(かるべの郷ドリームスペース・かるべの郷放課後等デイサービス) 報告事項: 理事長の職務の執行の状況
第4回	令和6年3月22日	1. 令和5年度補正予算(案)について 2. 令和6年度事業計画(案)について 3. 令和6年度予算(案)について 4. 給与規程の変更について 報告事項: 理事長の職務の執行の状況

令和5年度評議員会

	開催日	協議事項
第1回	令和5年6月 (書面開催)	1. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和4年度決算報告(案)について 報告事項: 社会福祉法人かるべの郷福社会令和4年度事業報告

令和5年度監事監査

開催日	監査事項
令和5年5月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事の職務の執行状況</li> <li>・ 事業報告及びその付属明細書</li> <li>・ 計算関係書類(計算書類及びその付属明細書)</li> <li>・ 財産目録</li> </ul>

2. 人事労務管理

①人材育成

・ 法人内資格保持者数

(人)

資格種類	取得者数	資格種類	取得者数
介護職員初任者研修	8	相談支援専門員	8
ホームヘルパー2級	28	主任相談支援専門員	2
介護職員実務者研修	34	サービス管理責任者*	8
喀痰吸引等研修	21	看護師	19
介護福祉士	95	准看護師	2
社会福祉主事	16	保育士	12
社会福祉士	11	強度行動障害支援者基礎・実践研修	5
精神保健福祉士	5	ユニットリーダー研修	4
理学療法士・作業療法士 言語聴覚士	3	医療的ケア児等支援者・ コーディネーター養成研修	2
介護支援専門員	24	管理栄養士	3
主任介護支援専門員	7	調理師	12
認知症介護基礎研修	15	秘書検定2級	8
認知症介護実践者研修	20	福祉住環境コーディネーター	3
認知症介護リーダー研修	4	労働安全対策担当者研修	6

・ 法人全体での研修会の開催

法人全体の経営方針説明会は正規職員及び嘱託職員のみを対象として行った。感染対策研修会は全体で行うことは中止し、各事業所内での研修とした。各部署で感染対策等のシミュレーションを実施し、注意事項についてはオクレンジャー(緊急連絡網・安否確認システムのアプリ)等で速やかに発信した。

認知症当事者丹野智文氏の講演会をオンラインで開催し、認知症カフェ映画会「オレンジ・ランプ」に協力した。

## ②介護職員の確保

- ・ホームページ・SNS等の活用で、広く“かるべの郷”をアピール
- ・就職フェア等の参加
- ・ハローワーク主催企業説明会への参加
- ・サンテレビの「アサスマ」でかるべの郷福祉会を紹介していただいた

## ③職場環境

- ・職員の健康づくり(35歳以上の希望者に人間ドッグを実施・市と協力した体力測定会は中止)
- ・安全運転への配慮(制限速度・道路交通法の遵守・運転する職員への研修を実施)
- ・運転する職員に対し、自主的に一日2回のアルコールチェックを行った
- ・社会保険労務士と共に安全衛生委員会を開催し、安全衛生パトロールを実施
- ・ストレスチェックの実施
- ・非常災害対策計画・業務継続計画(BCP)の策定及び見直し
- ・県の災害時情報共有システムの訓練に参加
- ・消防訓練(消火・避難訓練)年2回
- ・働き方改革により年休取得を推進
- ・『ミモザ企業(ひょうご・こうべ女性活躍推進企業)』を取得
- ・『もにす認定(障害者雇用優良中小事業主認定制度)』を取得し、『ユースエール企業』とのダブル認定は兵庫県初とのことで、神戸新聞や広報で紹介
- ・分かりやすい評価と昇給制度及び定期的な面接で職員の「やりがい」につなげた



## 3. 事業管理

### (1) シニア事業部

- ・特別養護老人ホームかるべの郷さざんかでは、職員自らが自分たちの問題を解決していけるよう、3つの委員会(5S委員会・ノーリフティングケア委員会・常に考える委員会)で、問題解決について検討した
- ・ノーリフティングケアを実施、意識づけで常に考えることを意識できるようになった
- ・ひょうご介護ロボット導入・生産性向上推進フェアで「働きやすい職場づくりの取り組み紹介」を発表した
- ・但馬長寿の郷の地域ケア研究会で、シニア事業部の取り組みを発表した
- ・お客さまの状況に合わせ、サービス内容を柔軟に変更し対応した
- ・職場内での研修(職員が講師となり、多岐に渡る研修を実施)
- ・認知症ケアの充実(研修に参加し、伝達研修を行う)
- ・精神疾患や障がいをお持ちの方への支援について学んだ

- ・感染予防対策のため外出制限等を行う中、快適に過ごしていただけるよう行事等を計画した
- ・かるべの郷デイサービスセンターで『過ごし方を自分で決めていただく充実した個別プログラム』に取り組み、やりがいを持って利用していただいた

## (2) チャレンジド事業部

- ・長期入院精神障害者地域移行推進事業の受託
- ・地域移行・地域定着を積極的に実施し、他の相談支援事業所等にスーパービジョンを行う
- ・相談支援従事者初任者研修でのファシリテーターで養成や資質の向上に寄与
- ・主任相談支援専門員として、相談支援専門員の資質向上に取り組む
- ・かるべの郷ドリームワークス・かるべの郷ドリームスペースでの工賃向上のため作業内容について検討した
- ・かるべの郷ドリームワークスの朝倉山椒の作業の様子を産経新聞に紹介していただいた
- ・「養父市認知症共生社会推進フェスタ」に協力してバザーに出店した
- ・新しくかるべの郷グループホームゆめよんが9月に完成し、各事業所が精神科病院退院者の地域での生活に取り組んだ
- ・かるべの郷放課後等デイサービスでご家族様と連絡が速やかに取れるよう LINE を活用した
- ・養父市自立支援協議会に協力し、構成員として地域課題について検討した

## (3) ホームケア事業部

- ・南但馬で唯一特定事業所加算（Ⅰ）を算定しているヘルパー事業所として、質の高いサービスの提供に努めた
- ・特定事業所加算（Ⅱ）を算定している居宅介護支援事業所として、質の向上に努めた
- ・高齢者相談センターようか・やぶで総合相談を実施
- ・相談センターpolaris で、市内の引きこもり等に関する相談を実施し、居場所を提供
- ・人材育成と資格取得のため、実務者研修と喀痰吸引等研修を実施

## III. 地域との共生

### (1) 地域から法人へ

- ・広谷地区の『広谷夏まつり 2023』に協力し、大勢の方々にお越しいただいた。
- ・『広谷秋まつり』では、「KARUBE・GARDEN LIVING」の神輿蔵を出発した神輿がかるべの郷や、広谷地区を練り歩いた。
- ・豊岡演劇祭の関連イベントとして、「KARUBE・GARDEN LIVING」の地域交流室で、「老いと演劇のワークショップ『認知症ケア“いま”をともに楽しむ』」を開催し外部の方も参加された

### (2) 法人から地域へ

- ・安心見守りネットワークへの参加
- ・介護技術講習会（『KARUBE・TREE×TREE』にてカフェ開催）
- ・養父中学校出前授業（兵庫県老人福祉事業協会 介護業務イメージアップ推進事業）
- ・就職フェア等への参加
- ・関宮子ども歌舞伎の鑑賞に出かけた

・令和5年度 『KARUBE・TREE×TREE』 来客状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	39	80	104	99	73	80	95	92	96	74	72	81
休日来所	12	13	9	21	9	8	16	30	11	18	8	14

#### IV. その他

##### (1) 事業を継続するための環境整備

###### ・介護人材の確保

【但馬・丹波地域】オンライン福祉の就職説明会への参加（令和6年3月11～15日）

###### ・研修等の支援

養父市と県の介護人材確保に向けた補助金を取得

###### ・賃金改善の実施

各種処遇改善加算の上位取得

###### ・外国人介護人材の確保

長く働けるよう、介護分野における特定技能協議会に入会

###### ・介護ロボット・ICTの導入で働きやすい職場づくり

2023年度 JKA 福祉機器の整備補助事業を活用し、かるべの郷デイサービスセンターに特殊浴槽2台・洗浄ユニット・高さ調節式ストレッチャーを購入

令和5年度介護業務における労働環境改善支援事業補助金を活用し、特別養護老人ホームかるべの郷さざんか、かるべの郷さざんか短期入所生活介護事業所、かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所、かるべの郷短期入所生活介護事業所、養護老人ホームかるべの郷あじさいに、ロボットベッド107台を搬入

##### (2) 感染対策について

養護老人ホームかるべの郷あじさいで、令和5年9月20日～29日に利用者23名が新型コロナウイルス感染症に感染したが、皆様無事に回復された。2名入院されたが、それ以外の方は施設内で療養されたため、介護事業所等サービス継続支援事業補助金を活用した。

##### (3) 物価高騰への対応

兵庫県と養父市の原油価格・物価高騰対策一時支援金を活用



# 令和5年度 養護老人ホームかるべの郷あじさい事業報告

## 1. 総括

お客様に養護老人ホームかるべの郷あじさいで生きがいの持てる生活の実現を目指し、自立支援の方法を具体的に考えサービスの提供に努めた。

### (1) 業務改革

- ・介護職員・看護職員・介護助手全ての業務分担を見直し、無駄な業務を省き、効率的な業務の手順の統一化を図った。その結果、介護職員1人分の余裕が生まれ、お客様が希望されていた外出の時間を定期的に設けられるようになった。
- ・お客様の自立支援を目指し、排泄介助の方法や日常の関わり方を見直した。  
例えば、オムツ交換の方で、排便時に毎日衣類まで汚れてしまい、排便コントロールに困っていた。「排便日誌」を準備して毎日記録をとり状況を可視化することで、最善の関わり方を見つけることができるようになった。現在は下剤も不要となり毎日トイレで自然排便が出るようになった。
- ・インカムの使い方を見直し、各職員が業務の進捗状況を頻繁に報告し合い、相談事もインカムで行うことで、職員全員がより協力し合う体制ができた。

### (2) 各関係機関との連携について

養父市、朝来市、豊岡市、香美町等の担当者と、日頃から訪問や電話連絡等で情報交換を行い、いざという時に協力し合える関係性の構築に努めた。また、お客様の中には、精神科病院をはじめ整形外科、眼科など専門医の協力が必要な方も多く、各医療機関とも連携を図った。災害時（特に台風時）は受け入れの対応が即時にできるよう職員が待機し、養父市役所や地域の区長等と連絡を取り合った。

## 2. 行事内容の充実への取り組み

全員を対象にした体操だけでなく、下肢筋力が低下されているお客様には個別メニューを作り個別機能訓練を毎日実施。小人数でレッドコードも毎日取り組めるようにし、より効果的に身体機能の維持が図れるようになった。

お客様の生活の中での楽しみや生きがいに直結する行事について、お客様に「何がしたいか」と希望を確認。外出を希望される方が多く、行き先についてもお客様に希望を伺いながら計画を立て昼食やドライブに出かけていただいた。

あじさいの中庭・裏の畑で花や野菜を育てる農作業については、昨年度から続けており庭で作ったサツマイモを使い干し芋や焼き芋をする等喜んで頂いた。

〔行事内容〕

	行事内容
4月	14日 クッキング『苺ケーキ』
5月	11日 外食『八鹿但馬蔵』 18日 喫茶『ジョイフル』
6月	08日 外食『竹田山城の郷』 15日 買い物『イオン』 22日 外食『やぶ飯店』 30日 パン祭り
8月	03日 広谷夏祭り
11月	15日 あじさい運動会 21日 焼き芋大会
12月	21日 クッキング『さつま芋茶巾絞り（畑でとれたさつま芋使用）』 26日 年忘れ会
1月	1日 新年祝賀会 12日 クッキング『干し芋作り』
2月	1日 節分行事 12日 外食・買い物『いこい食堂・Yタウン』 21日 クッキング『ぜんざい』 27日 外食『手打ちうどん一心』
3月	28日 寄せ鍋

〔その他〕

『和み喫茶』（週1回）、『誕生祝会』（月1回）、『カラオケ』（週1回）

### 3. 職員の専門性を高める取り組み

地域移行で精神科病院を退院された方を積極的に受け入れ、入所されるお客様に精神疾患を抱えておられる方が増加し、多種多様な関わり方が求められるようになった。ドリームワークスの職員を講師に迎え勉強会を開催する等、病気や障がいの理解を深めるとともに、各職員が専門的な知識や技術のレベルを向上し、お客様に適切なサービスを提供できるよう努めた。

〔外部研修内容〕

研修日	研修名	研修場所
4月～9月	かるべの郷実務者研修	かるべの郷福祉会
12月09日	地域ケア研究会	但馬長寿の郷
03月11日	養護部会施設長研修会『兵庫県内の養護老人ホームの動向』『養護老人ホームにおける生産性向上について』	WEB

### 4. 入所者人数

〔月初入所者数〕

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均人数
49.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	49.0	50.0	50.0	49.8

## 令和5年度 特別養護老人ホームかるべの郷さざんか事業報告

全職員の考え方の統一を図るため、毎日、理念1つと、理念をどのように実行するかを業務分担表に書き込み、常に理念を意識できるように取り組んだ。そして、理念を遵守したサービスが提供できるさざんかを目指した。

また、職員一人ひとりがお客様を心から大切にしたいサービスを提供するとともに、職員が働きやすいさざんかを目指し、さざんかの問題はさざんかの職員で解決していくため3つの委員会を設け、毎月サービスや業務の見直しを行った。

### 1. 委員会の取り組みについて

#### (1) 5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）委員会

環境に関するヒヤリハットの対応策を毎月検討。例えば、「洗面台の排水溝のゴミが溜まっている」という繰り返されるヒヤリハットでは、口腔ケアの介助の動作に取り入れ介助方法の統一を図る（マニュアル化）等、時間をかけながらヒヤリハットの改善に繋がった。

職員が効率良く業務が遂行できるよう、浴室やトイレ、倉庫、事務所などの整理整頓を継続して定期的に行った。常に清潔で美しい職場の実践に繋がり、お客様も職員も気持ちよく過ごすことができ、職員が物品を探す時間が減り業務の効率化に繋がっている。

#### (2) ノーリフティングケア委員会

お客様、お一人おひとりの身体の状態に合わせ、安全で安楽な移乗介助方法、排泄介助方法の見直しを定期的に行った。状態が変わればすぐにケア内容も見直しができ、必要な方にはリフトの使用や職員二人で対応を行う等、お客様・職員共に体の負担の軽減を図ることができている。令和5年度も移乗やオムツ交換の介助中の事故（骨折等）はゼロ件であった。

令和6年度はお客様の安楽なポジショニングに取り組む予定であり、取り組みに向け事前にポジショニングの方法についての勉強会を行った。

#### (3) 常に考えるケア委員会

お客様の生活の質に大きく影響する排泄ケアについて、オムツのメーカーをリブドゥコーポレーションから花王へ変更。

全入所者の尿測を行い、排泄のタイミングの把握と適切なパッドの選定を行い、洗浄・保湿を確実にし皮膚トラブルの軽減、また臭いの軽減等 排泄介助の質を高めながら排泄に関わる物品のコストの削減を図ることができた。

#### (4) 業務改善委員会

業務が遅れる原因を把握し、各職員が効率的に動けるようにするための業務分担表の見直しを目的に11月から新たに委員会を設けた。

現在の業務を見直すだけでなく、これまで以上にさざんかの業務の効率化を図るため、浴槽の入れ替え、固定式リフトの追加導入に向けその効果について検証を行った。座位式ミスト浴の導入では予測した効果が初日から見られ、入浴時間が30分/日短縮。固定式リフト12台追加導入でも、時短が図れている。

業務改善後のお客様の生活の質の向上についても検討し、体操やクッキングなどレクリエーションの充実につなげることができた。

## 2. 職員の専門性・人間性を高める取り組みについて

- (1) ノーリフティングケアの浸透、正しい介護技術の習得のため、さざんかの介護職員3人（長寿の郷で実施されている指導者養成研修受講修了者）が指導者となり、毎月2回介護技術研修会を開催。アドバイザーとして但馬長寿の郷の理学療法士も参加していただいた。

『起居・移乗動作』の知識や技術を1年かけて学べるように計画し、毎回5～10名の参加者があった。

施設内介護技術研修会の取り組みについて、先進的な取り組みとして但馬長寿の郷の研究会で報告して欲しいと依頼があり、高田介護職員が地域ケア研究会で発表を行った。

- (2) 各職員の経験年数、習得したいと希望している技術や知識等を考慮し、職員のスキルアップに繋がると考えられる研修に参加した。

[外部研修]

研修日	研修名	研修場所
05月10日	介護技術研修「地域ケア概論」	但馬長寿の郷
06月09日	ユマニチュードの哲学と4つの柱	WEB
06月10日	摂食・嚥下の基礎と介護現場で取り組む食事ケア	豊岡市民会館
07月21日	介護ロボット導入・生産性向上推進フェア	アクリエひめじ
07月25日 10月04日	育成者指導スキルアップ研修「起居・移乗動作」	但馬長寿の郷
07月27日	近畿老人福祉施設研究協議会	神戸ポートピアホテル
08月22日	介護技術研修「移乗介助」（指導者の様子見学）	但馬長寿の郷

12月09日	地域ケア研究会 *発表『自分たちでかるべの郷シニア事業部の意識を変える』	但馬長寿の郷
--------	---	--------

(3) 職員会議では、職員が業務を行う上での判断基準を統一するため、毎月、施設長から経営理念についての説明を受け、全職員が経営理念を理解できるよう努めた。

また、介護職員が必要な専門的な医療の知識（薬の知識、緊急時の対応、感染症の対応等）を身に付け基本的な対応ができるよう看護職員が勉強会を開催した。

### 3. 利用実績

[1日平均利用者数]

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
長期入所者	46.37	42.45	46.40	45.68	44.42	46.57	43.81
短期入所者	11.37	9.87	11.97	9.94	11.65	11.97	11.97
利用者合計	57.73	52.32	58.37	55.61	56.06	58.53	55.77
	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均	
長期入所者	48.13	48.97	49.61	49.07	47.94	46.60	
短期入所者	11.87	12.10	11.29	12.28	10.71	11.40	
利用者合計	60.00	61.06	60.90	61.34	58.65	58.01	

## 4. 調理部門

当法人では、調理業務を直営で行っており、そのメリットを活かしお客様一人ひとりの状態に応じたきめ細やかな対応を心がけている。また、四季折々の地元産の新鮮な食材を使用した家庭的な美味しい食事の提供に努めている。

令和5年度は、職員一人ひとりがかかるべの郷の基本理念に基づき、お客様にとって「食べやすく美味しい食事」、「食べる」ことが生きる喜びや楽しみにつながるように心のこもった家庭的な食事をめざし日々業務に取り組んだ。

また、読書・研修会等に積極的に参加して自己研鑽に励むとともに人間力を高め、一人ひとりがもてる力を発揮し、より良い食事サービスが提供できるように工夫し意欲的に取り組むことができた。

### 【食事】

#### ①厨房職員おすすめメニュー

月1回昼食時に調理職員が、お客様の嗜好に対する配慮も行いつつこだわりの個性あふれる献立を考え提供した。旬の食材を使用した季節料理や手作りの心こもった料理は、お客様に大好評であった。

#### ②食事に関わる行事への参加

施設内の行事に調理員が積極的に参加し、施設職員の一員として意識を高めることができた。

#### ③大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理の徹底

食中毒予防、感染症対応においては、迅速、確実に行った。また厨房職員としての責任感をもって自己の健康管理に十分気をつけた。

#### ④食材管理

かかるべの郷ドリームワークスが生産した地元産の旬の新鮮な食材を仕入れ活用した。

### 【栄養管理】

低栄養の予防と栄養改善のために、多職種協働でお客様の身体状況、栄養状態及び嗜好を把握し、適切な栄養管理や評価を行い、個別の栄養ケアを行った。また、「口から美味しく食べることを継続できるように医師の指示のもと管理を行った。

### 【給食会議】

- ・利用者に「美味しく楽しく安全な食事」が提供できるように、献立、行事食、食事形態等の検討など活発な意見交換を行った。
- ・業務改善委員会、環境整備衛生委員会、献立検討委員会それぞれの委員会で課題をみつけ検討、改善に努めた。

【年間行事食】

月	行事内容	月	行事内容
4月	観桜会（弁当）、おすすめメニュー 旬菜料理（木の芽和等）	10月	おすすめメニュー 旬採料理（まつたけご飯）
5月	端午の節句、旬菜料理（ふきご飯等） おすすめメニュー	11月	おすすめメニュー 季節料理
6月	おすすめメニュー 季節料理（えんどうご飯等）	12月	冬至、おすすめメニュー クリスマス、大晦日
7月	七夕（素麺）、丑の日メニュー おすすめメニュー、	1月	お正月（雑煮、おせち料理） 七草、小豆粥 季節料理、おすすめメニュー
8月	おすすめメニュー、季節料理	2月	節分 おすすめメニュー 季節料理
9月	敬老祝宴 おすすめメニュー	3月	雛祭り おすすめメニュー

【その他】

【研修内容】

研修日	研修名	研修場所
4月1日	全体研修会 令和5年度かるべの郷運営方針について	かるべの郷
7月11日	令和5年度南但給食施設協議会総会並びに研修会	和田山ジュピターホール
11月2日	令和5年度但馬圏域 給食施設協議会相互支援訓練	特別養護老人ホーム 楽々むら
1月21日	令和5年度但馬圏域給食施設協議会全体研修会 「給食BCPの導入について」	WEB開催
3月7日	ソフト食の作り方	かるべの郷
3月21日	令和5年度 栄養士・調理業務職員研修会 「食中毒について」	但馬長寿の郷

## 令和5年度 かるべの郷デイサービスセンター事業報告

職員全員が「かるべの郷デイサービスセンターがどのように地域に貢献していくことができるのか」そのために「お客様にかるべの郷デイサービスが必要な存在となるためにどうすれば良いか」を念頭に『社是』『社訓』『行動指針』に基づいた行動に努めた。お客様にはかるべの郷デイサービスのご利用に目的をもっていただき、お客様の希望に応じるだけでなく、潜在的なニーズを発見し、職員からお客様へサービスの提案も行った。

### 1. 自分で決めていただく過ごし方。充実した個別プログラムの取り組み

お客様が「自分は何をして過ごしたいか」自ら選択していただき、オーダー表にご自分の名前を記入し飲み物と選択プログラムに○をしていただくシステムも定着してきており、お客様にも慣れていただくことができた。記入が難しく中々選択していただけないお客様には声掛けし職員が傍らにいる事で名前の記入ができ、「今日は○○をしようかな」と○をしていただけるように関わった。選択して頂くメニューは『レッドコード』『フットマッサージ』『マシン』『カラオケ』とした。

職員が積極的にコミュニケーションを図り、お客様自らメニューを選択し取り組んでいただけるよう、お客様のやりたいことを見つけ意欲を引き出していけるよう関わった。

カラオケは何人か一緒に入って歌いたいとのお客様からの要望があり、一人カラオケだけではなく、小グループでカラオケを楽しんで頂いた。

独居の方を対象に毎週木曜日にマックスバリュの移動スーパーに来てもらい、ご自分で品物を選んで購入して頂いた。自分で選んで買える為、好評である。

#### \*日々のプログラム

9:30	来所・バイタル測定・スケジュール決定	
9:45	入浴（一般浴） （特 浴）	・【選択メニュー】カラオケ、機能訓練等 ・個別レク
11:30	集団体操、口腔体操、DAM体操（カラオケ機器を用いた体操）	
12:00	昼食	
14:00	・【選択メニュー】機能訓練、カラオケ、個別レク等 ・個別レク（手芸、将棋、パズル等）	
15:20	喫茶タイム	
15:45	集団体操、DAM体操（カラオケ機器を用いた体操）	
16:05	送迎開始	

\*お客様の誕生日に近い利用日にお誕生日のお祝いを行う。



## 2. 介護予防・生活機能向上のためのレクリエーション

介護予防のための脳トレーニングメニューを豊富に準備し、毎日、殆どのお客様が好まれるメニューに取り組まれている。「塗り絵」ではより高度な物に挑戦されるお客様が増えてきた。額に入れフロアの壁に展示し大勢の方に鑑賞していただくようにし、作成されたお客様自身も「飾ってもらっている」と喜んでいただけた。

「今日は計算問題をください」「今日は漢字をしてみるわ」等と取り組むメニューをお客様が自ら求められることが増えた。毎回、個別メニューに取り組まれることで上達され、お客様の要望に応え内容の充実も図った。

塗り絵など個別メニューを提供してもなかなか取り組んでいただけないお客様へ提供していた職員お手製の絵合わせパズルでは、『花』『計算』『記号』『花札』等をモチーフに作成した。大変好評で「今後は違った花で作って欲しい」「新しいのがしたいわ」等、お客様からの要望も多く聞けた。

又、フットマッサージャーで体をほぐしていただき、リクライニングチェアでリラックスしていただく場所と時間を設けた。

## 3. 機能訓練について

「体を動かしたい」と希望されるお客様が多いため、レッドコード・マシン・機能訓練指導員によるリハビリとメニューを増やし、1日の中で運動する機会をたくさん持っていただいた。

レッドコードは体を動かしやすくお客様全体の9割の方に参加していただいている。午前中から実施される方も多くなってきた。

機能訓練指導員の理学療法士・作業療法士の対応でお客様に専門的なリハビリを受けてもらう事ができ、職員もお客様の事で疑問に思うことを尋ね聞く事で、安心して関わる事が出来た。

## 4. 認知症ケアの専門性向上のための取り組み

認知症をお持ちのお客様が3割以上を占める中で、迎えに行っても「今日は行かない」と利用を拒まれる方や、「まだ準備が出来ていない」と迎え時間に出かけられない方もある。そのようなお客様は時間をおいて再度迎えに行き、利用していただけるよう言葉かけを行った。

来所後に「帰りたい」と落ち着かない方、自分の心の世界に入り独り言をいわれる方等、BPSD（認知症の周辺症状）も多種多様である。お客様が快適に過ごせているか、利用中一日を通して職員が常に気かけながら、必要に応じて言葉かけを行い、興味を持っていただけたようなメニューを提供するなど安心して過ごせるよう対応している。また、不安な気持ちになりやすいタイミングなどを把握するよう努め、可能な限り不安になる前に関わる事ができるよう対応している。又、その都度所在確認し、インカムを活用し「〇〇さんは△△にい

らっしゃいます」と情報共有を行った。

言葉のかけ方や対応の方法、安心して過ごすことのできる環境面への配慮など認知症ケアの専門性を高めるため、『ユマニチュード』の目線の合わせ方、身体の触れ方、声のかけ方等を理解し、ユマニチュードケアを活用し気持ちの伝わる認知症ケアを実践できるように努めた。

## 5. 職員の資質向上・サービスの向上への取り組み

### ①職員の資質向上のための取り組み

デイサービス職員全員の考え方の統一を目指し、施設内での研修や勉強会を定期的に行い、職員全員で意見交換できる場を設けた。

### ②専門性向上のための取り組み

各職員が知識や技術のレベルを上げ、またサービスへの意識を高めることで、お客様に、より質の高いサービスを提供していただけるよう努めた。

### ③業務の見直し

基本的な業務の統一だけでなく、各職員が実施しているお客様への配慮についても全職員が共有できるよう各業務マニュアルの修正や追加を随時行った。そして、一人ひとりのお客様に対する声のかけ方や対応方法、配慮している点などの統一を図った。

インカムを活用し迅速な情報の共有を行った。

緊急時の対応について、どの職員でも対応ができるように勉強会を行った。

### ④感染症予防の徹底

感染症対策として、手洗い、手指消毒、マスク・フェイスシールドの着用を徹底した。デイサービス内の換気、物品の消毒、送迎車の換気をこまめに行った。お客様にも感染症予防を意識していただくよう手洗い、手指消毒の声掛けを行った。

[勉強会・研修内容]

	研 修 名	研修場所
04月01日	全体会議	かるべの郷
05月10日	令和5年度介護技術研修	但馬長寿の郷
06月10日	在宅医療・福祉多職種連携研修会	但馬長寿の郷
8月30日	安全対策担当者研修（オンライン研修）	かるべの郷
9月30日	在宅医療・福祉多職種連携研修会	但馬長寿の郷
11月25日	在宅医療・福祉多職種連携研修会	但馬長寿の郷
11月27日	令和5年度 福祉用具研修会	但馬長寿の郷
12月14日	介護技術研修	かるべの郷
1月17日	介護報酬改定研修会（オンライン研修）	かるべの郷
1月25日	介護報酬改定研修会（オンライン研修）	かるべの郷
2月6日	介護技術研修	かるべの郷
3月12日	介護技術研修	かるべの郷

## 5. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
通所介護利用者(人)	882	919	880	887	860	794
予防通所利用者(人)	160	186	177	108	171	177
介護保険利用者合計(人)	1,042	1,105	1,057	1,010	1,031	971
生活介護利用者(人)	0	0	0	0	0	0
利用者合計(人)	1,042	1,105	1,057	1,010	1,031	971
平均利用者(人)	41.6	40.9	40.7	40.6	38.2	37.3
稼働日数(日)	25	27	26	26	27	26

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所介護利用者(人)	841	834	849	766	796	772
予防通所利用者(人)	177	185	168	141	165	158
介護保険利用者合計(人)	1,018	1,019	1,017	907	961	930
生活介護利用者(人)	0	0	0	0	0	0
利用者合計(人)	1,018	1,019	1,017	907	961	930
平均利用者(人)	39.2	40.8	39.1	37.8	38.4	37.2
稼働日数(日)	26	25	26	24	25	25

## 令和5年度 かるべの郷花笑み倶楽部事業報告

お客様がその人らしく生きがいのある人生を送ることのできる支援を目指し、心身ともに元気に自宅での生活が継続できるよう、お客様の要望に添ったサービスの提供とともに介護予防に努めた。

### 1. 介護予防サービスの充実について

かるべの郷花笑み倶楽部をご利用されているお客様は「友だちとここで顔を合わせて一緒に話して過ごすことが楽しい」「友だちと話をしていると思いきり笑うことができる」と親しい方との交流を楽しみにされている方が多い。お客様に満足していただき休まずに毎回利用していただけるよう、お茶を飲みながらゆっくりと会話ができる時間を毎回提供している。

しかし、楽しんでいただくだけでなく、ADLの維持・向上を目指し、日常の生活動作に繋がる体操メニューを実施し、効果的に身体を動かしていただく機会を持った。積極的にレッドコードに参加していただき、「これは本当に体が動かしやすい。毎回必ずしたいです」と感想をいただいた。フットマッサージャーも積極的に利用していただき、「体が軽くなったようだ」と喜んでいただいた。

本年度は、介護認定の申請に繋がった方が0人、新規利用者様は2人であった。最初から介護認定を申請される方が多く、お客様の人数は増減なしである。今後も自宅で閉じこもりがちでいる方が当サービスの利用をきっかけに、外出や気分転換の機会が持てるようになる方が多い。地域の高齢者の方が、一日でも長く自宅での元気な生活を送ることができるよう、今後もサービスをさらに充実させ介護予防に努めていく。

### 2. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者 (人)	9	9	9	9	8	7
一日平均利用者 (人)	3.0	3.0	3.0	3.0	2.6	2.3
稼働日数 (日)	3	3	3	3	3	3

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者 (人)	8	7	13	10	13	11
一日平均利用者 (人)	2.6	2.3	4.3	3.3	4.3	3.6
稼働日数 (日)	3	3	3	3	3	3

## 令和5年度 かるべの郷短期入所生活介護事業所事業報告

出勤時に『社是』『行動指針』『社訓』を唱和するとともに、『社訓』に対し自分の考え方を書く機会を持つとともに毎月の会議で理念の説明を受け、常に経営理念を意識できるように努めた。そして、経営理念を遵守したサービスがお客様に提供できるように取り組んだ。

また、お客様やご家族だけでなく地域の方々にとってもガーデンリビングが身近な場所となるように、日ごろの外出や送迎時などの機会に関係づくりを行った。

### 1. サービス内容について

- ・見守り支援ベッドを導入し、お客様それぞれに合わせた設定を行うことで安心、安全に過ごしていただけるように努めた。不要な訪室が減り、職員の業務負担軽減に繋がっている。
- ・お客様ご自身が選択し、楽しみながら取り組めるような体操や脳活性メニューを準備し、個々に合ったレクリエーションメニューの提供をした。また、天気がいい時にはテラスや屋外へ散歩に出かけ、運動の機会と共に気分転換をしてもらえるように努めた。
- ・認知症予防のために回想法を取り入れた「おとなの学校」を1日30分毎日開催し、希望者に参加していただいた。季節に合わせた教科書を使用し、懐かしい話題や写真を見て話しが弾み好評をいただいている。
- ・お客様が中心となり、掃除や洗濯、食事の準備などを実施してもらえるように職員がサポートを行った。今まで慣れ親しんできた役割を継続することで、生き甲斐を持って生活していただけるように関わった。
- ・お客様やご家族、担当介護支援専門員、主治医等の関係機関と連携を図り、お客様個々に合った適切なケアが統一して行えるよう努めた。
- ・ご家族への連絡方法や連絡頻度はご家族のご希望に合わせ行い信頼関係を築いている。希望される方にはLINEでの連絡を行っている。
- ・緊急ショートステイ専用床として、緊急にご利用希望されるお客様の対応を行った。

#### [その他、行事内容]

月	行事内容等
4月	桜の花見、クッキング
5月	停電訓練
6月	避難訓練
7月	広谷夏祭り 2023
10月	かるべ神社秋祭り
12月	クリスマス会

1月	新年祝賀会、初詣
2月	クッキング
3月	避難訓練

## 2. 職員研修

研修日	研修名	研修場所
4月01日	全体会議	かるべの郷集会所
4月19日、26日	ノーリフティング	かるべの郷福祉会
5月26日	ベッド上での移動動作、寝返り動作	かるべの郷福祉会
6月12日	『認知症の方の気持ちに寄り添うことができるように』講師：丹野智文氏	かるべの郷福祉会
6月15日、20日	ベッド上での移動、寝返り	かるべの郷福祉会
7月11日、25日	起き上がり介助	かるべの郷福祉会
8月21日	ベッド上での移動、寝返り	かるべの郷福祉会
8月30日	安全対策担当者研修	オンライン型
9月18日	認知症ワークショップ	KARUBE・GARDEN LIVING
9月18日	ユマニチュード研修	オンライン型
10月18日	立ち上がり動作	かるべの郷福祉会
12月14日	スライディングボード移乗	かるべの郷福祉会
2月6日	リフト移乗	かるべの郷福祉会

感染症予防、緊急時対応、身体拘束廃止、虐待防止や人権擁護については、定期的に研修を実施

## 3. 利用実績

### ①〔1日平均利用者数〕

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
17.93	17.97	19.70	17.90	18.52	15.93	18.55	18.90	18.94	17.94	18.41	19.13	18.32

### ②〔月間要介護度別利用者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護1	10	9	8	8	7	7	9	5	7	5	6	5	86
要介護2	10	13	16	9	10	9	12	9	10	8	9	10	125
要介護3	13	15	15	14	15	13	16	18	19	19	16	19	192
要介護4	4	4	3	6	5	5	5	5	6	7	6	6	62
要介護5	3	3	2	2	4	3	3	3	5	4	4	2	38
合計	41	45	45	39	42	37	45	40	47	43	41	42	507

## 令和5年度 かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所事業報告

出勤時に理念を唱和するとともに、毎月の会議で『社是』『行動指針』『社訓』をもとに自分の考え方を書いたうえで理念の説明を受け、理念をもとに考え、行動できる力を身につけることを意識し、日々の業務に取り組んだ。

お客様へのサービスの向上、職員が働きやすい職場環境の為に介護見守りロボットを導入するとともに課題の検討やサービスの見直しができる機会を増やし、お客様が安心し、満足していただけるように努めた。

### 1. サービス内容について

- ・見守り支援ベッドを導入し、お客様に合わせた設定を行うことで安心、安全に過ごしていただけるように努めた。不要な訪室が減り、職員の業務負担軽減に繋がっている。
- ・日用品の買い物やガーデンの草取り、近隣への散歩、デイサービス休業日にはデイサービスのカラオケや運動器具を使用しての運動など積極的に外出する機会を設け、楽しみながら心身機能の維持向上となるように努めた。行事の際にはご家族と相談し、一緒に参加してもらうこともでき喜んでいただけた。
- ・日常生活の家事作業を機能訓練の一環として、お客様一人ひとりに合わせた家事作業を準備し、職員はサポートを行った。
- ・全員（各ユニットごと）で体操を行うだけでなく、歩行訓練、立位訓練、ゴム体操、ペダル漕ぎ、ボール足裏エクササイズなど個別での体操メニューを準備し毎日取り組んだ。
- ・認知症予防のために回想法を取り入れた「おとなの学校」を1日30分毎日開催した。季節に合わせた教科書を使用し、懐かしい話題や写真を見て好評をいただいている。
- ・毎月のクッキングは、季節にちなんだメニューやお客様のご希望を伺いながら、お客様と職員と一緒にメニューを考え、一緒に買い物に行き、スイーツ、昼食を作っていただくようにした。
- ・お客様が快適に過ごしていただけるように、お客様一人ひとりに合った排泄ケア用品の見直しやケア方法の統一を行った。
- ・職員が毎月通信を作成し、ご家族様に送付。お客様の日ごろの過ごし方が伝わるように写真を多く掲載した。
- ・ご家族様とのオンライン面会が日常化し、遠方の方等でも気軽に顔を見て話ができるようになった。オンライン面会時のサポートをするとともに、職員もご家族様と話しができる機会が持つ信頼関係の構築につながっている。
- ・LINEを活用し、急を要しない日々の連絡や相談をこまめに行った。
- ・感染症拡大予防に努め、毎日消毒を行い、清掃や整頓にも努めた。

[行事内容]

	行事内容	クッキング内容
4月	桜の花見、オカリナ演奏会	桜餅、ちらし寿司
5月	停電訓練	おはぎ、豆ごはん
6月	あじさい鑑賞外出、避難訓練、日高高校実習生	水ようかん、てんぷら
7月	観音祭り、広谷夏祭り 2023	ちらし寿司
8月		パフェ、ちらし寿司
9月		おはぎ、巻き寿司
10月	かるべ神社秋祭り、外出	スイートポテト、ちゃんちゃん焼き
11月	こども歌舞伎鑑賞	たこ焼き、てんぷら
12月	陶芸作品展鑑賞、クリスマス会	そばめし、ケーキ
1月	新年祝賀会	白玉ぜんざい、すき焼き
2月	喫茶外出	おはぎ、巻き寿司
3月	避難訓練	ちらし寿司

## 2. 職員の専門性を高める取り組み

- ・「相手の行動を否定しない」「行動を抑制しない」「まず話をきく」という姿勢、「職員はお客様をサポートする」という意識が持てるよう徹底した。
- ・『ユマニチュード』の目線の合わせ方、身体の触れ方、声のかけ方等を理解し、気持ちの伝わる認知症ケアの基本を学んだ。
- ・認知症当事者の研修会やワークショップから認知症の方への理解や関わり方を学び、お客様への関わり方について、再度見直しを行った。
- ・介護技術研修会に参加し、お客様や職員自身の負担の少ない介護技術の見直しを行った。



### 3. 入居者状況

①〔月間要介護度別入居者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1
要介護2	3	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	4
要介護3	6	7	7	8	8	8	7	7	6	6	6	5
要介護4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護5	2	2	2	2	2	2	4	3	4	4	4	5
合計	18	18	18	18	18	18	19	18	18	18	18	18

②〔1日平均入居者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	18.0	17.7	16.8	18.0	18.0	16.6	16.3	18.0	17.3	17.7	18.0	17.8

# 令和5年度 介護職員の養成等事業報告

## (かるべの郷実務者研修・かるべの郷喀痰吸引等研修)

### 1. 総括

平成19年に社会福祉士及び介護福祉士法等が一部改正され、介護福祉士の資質向上のため、実務経験で介護福祉士の国家試験を受ける者に対し、介護福祉士実務者研修の受講が必要となった。かるべの郷の職員だけでなく、近隣の法人職員の資格取得とレベルアップのために上記の研修を実施した。

実務者研修では、決められたルーチンケアを実施するだけでなく、お客様を理解し、お客様にとって必要な介護を皆が提供できる介護計画をたてる介護過程について学んでもらい、実務で活かせる研修となるよう工夫した。介護の仕事にやりがいを感じてもらえるよう、介護される体験を取り入れながら、介護福祉士の資格取得を目指してもらった。

新カリキュラムで研修を実施したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、スクーリングは一部オンラインを活用し、ハイブリッドでの開催となった。

喀痰吸引等研修事業は、第2号研修（不特定の物多数）を実施した。基本研修の修了者が受講され、実地研修（実際のお客様に対し看護師の指導の下定められた医療行為を実施）を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実地研修は感染リスクの高い行為となるため、今年度に終了できず、次年度に継続して研修を実施される方もある。

### 2. 受講人数

研修名	定員	受講者数	修了者数	備考
かるべの郷実務者研修	15	6	7	1名は昨年度より継続
かるべの郷喀痰吸引等研修	10	2	3	2名は昨年度より継続 1名は次年度継続

## 令和5年度 かるべの郷居宅介護支援事業所事業報告

「社是」「行動指針」「社訓」に基づき、お客様が住み慣れた家で安心して生活していただけるよう、お客様やご家族様の思いに寄り添いながら、迅速な対応に努めた。

登録人数は延べ2553人であり、サービスを利用されないお客様に対しても、不定期に訪問や電話による状態確認を継続して行い、状態が変わった際に速やかに対応できるよう努めた。

Yタウンで行われている清掃作業に月一度参加し、地域貢献に努めた。

### 1. マネジメント内容について

- ・お客様やご家族様が安心して在宅生活を送れるよう、毎月訪問とモニタリングを実施した。
- ・感染予防に配慮してサービス担当者会議を223件開催し、お客様・ご家族様の思いや情報の共有と目標の共通理解に努めた。
- ・医療機関やサービス事業者とこまめに連携をとり、お客様の状態の変化を早期に対応した。
- ・住み慣れたご自宅で生活したいお客様の思いを尊重し、在宅生活の継続を目指した。
- ・体調悪化等で入院の場合、本人・家族の意向を病院に伝え、連携して退院を支援した。
- ・急激な状態の変化があった場合、早急に情報収集しサービス内容を柔軟に変更した。
- ・主治医との連携に努め、本人・家族の思いを伝え、病状管理について相談した。
- ・状態の改善に合わせてサービスの見直しを行い、適切なサービスの提供に努めた。
- ・親族が遠方に住んでおられるお客様夫婦には、メール等活用し親族との連携に努めた。
- ・難病や末期がんの診断を受けられたお客様に対して、医療機関と相談しながら安心して生活できるようサービスを調整し、在宅困難となった場合は入院につなげた。

### 2. 介護支援専門員の資質の向上について

- ・読書やWEBでの研修など、自主的に自己研鑽に励んだ。
- ・感染予防に注意を払い、自身や家族の健康管理に努めた。
- ・毎日、情報共有や気になることを相談し、担当ケアマネジャーが不在でも、他の職員が速やかに対応できるよう努めた。
- ・障害の相談支援専門員との交流を持ち、障害について学び、事例検討会を実施するなど、障害から介護保険に上手くつながるよう情報共有に努めた。

令和5年度研修・会議内容

日時	研修名	場所	出席人数
R05/04/18	ケアマネジャー連絡会	市内	3名
R05/05/30	認知症支援ネットワーク会議	市内	6名
R05/06/12	『認知症の方の気持ちに寄り添うことができるように』 講師：丹野智文氏	市内	6名
R05/06/20	ケアマネジャー連絡会	市内	1名
R05/07/18	ケアプラン点検前研修会	市内	6名
R05/10/12	ケアプラン点検終了後研修会	市内	5名
R05/10/13	障がいと介護をつなぐ事例検討会	市内	3名
R05/10/27	認知症支援ネットワーク会議	市内	1名
R05/11/11	やぶ医者大賞10周年記念フォーラム	市内	1名
R05/11/17	ケアマネジャー連絡会	市内	2名
R05/11/22	リンクワーカー養成研修	市内	4名
R05/12/17	健康フォーラム2023inあさご『糖尿病を知る』	朝来市	1名
R06/01/21	認知症医療全県フォーラム『老いた親を愛せますか？』	オンライン	1名
R06/01/26	リンクワーカー養成研修	市内	4名
R06/02/01	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/02/02	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/02/15	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/02/16	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/02/22	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/02/29	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/03/01	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/03/06	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/03/07	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	1名
R06/03/22	介護報酬改定をケアマネジメントと事業所管理に活かそう！～ 居宅介護支援を中心に～	市内	2名

### 3. 給付管理を行った利用者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	23
予防	44	45	45	44	42	44	39	38	35	34	32	29	471
介護	172	169	169	165	166	164	169	161	162	159	155	160	1,971
申請中										1		1	2
合計	218	216	216	211	210	210	210	201	199	195	189	192	2,467
カウント	194	192	192	187	187	186	189	180	180	177	171	176	4.4人
新規	5	3	1	2	6	6	5	2	1	2	3	4	40
終了	11	2	7	1	6	13	3	3	3	8	11	7	75
利用なし	5	4	2	5	9	6	4	12	11	14	9	5	86

うち、総合事業のマネジメントについて

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
簡略	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	23
原則	8	9	10	10	9	10	9	9	8	7	7	8	104
予防	36	36	35	34	33	34	30	29	27	26	25	21	366

\*1月給付管理のみでマネジメント費の発生しない方が1名あり

### 4. 介護度別利用者延べ人数

介護度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	23	187	285	740	571	407	133	107	2,453
(%)	(0.9)	(7.6)	(11.6)	(30.2)	(23.3)	(16.6)	(5.4)	(4.4)	(100)

## 令和5年度 高齢者相談センターやぶ事業報告書

事業名 高齢者相談センターやぶ

事業実施場所 養父市上箇 153-1 Yタウン 『KARUBE・TREE×TREE』

事業期間 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

事業内容 養父市地域包括支援センターの一部委託

### (1) 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、初期段階での相談対応を行い、必要時速やかに申請手続きを実施し、ご本人・ご家族の選択に基づき公正中立に指定居宅介護支援事業所への紹介を行った。

Yタウンと言う利便性の高い場所に相談センターがあること、土日祝日でも開いていることから、他地域を含めた相談がある。その都度親切丁寧に対応し、その後担当地域の相談センターに引き継いでいる。

### (2) 権利擁護業務

消費者相談センターから気になる方の情報提供をいただき、市と連携した。

### (3) ケアマネジメント業務

要支援状態の軽減もしくは悪化の防止に努め、お一人お一人が生きがいのある生活を送ることができるよう、適切なサービスのケアマネジメントが行えるよう努めた。

### (4) 介護保険サービス支援

適切に住宅改修や福祉用具の購入ができるよう、長寿の郷の派遣等専門職と相談等行い、支援した。

### (5) その他

令和4～6年度まで養父地域・八鹿地域は社会福祉法人かるべの郷福祉会が受託。高齢者相談センターようかと一緒に「認知症の人と家族の一体的支援」に取り組む。

実施内容

	(1) 総合相談支援業務			
	新規相談	継続相談	介護認定申請	居宅引継ぎ
4月	11	144	8	7
5月	15	156	6	8
6月	13	222	16	4
7月	16	202	9	8
8月	17	177	9	3
9月	9	186	10	5
10月	15	213	14	8
11月	9	230	9	5
12月	12	163	10	6
1月	15	181	11	6
2月	14	179	10	2
3月	9	200	10	5
合計	157	2,253	122	67

	(3) ケアマネジメント業務					(4) 介護保険サービス支援	
	予防受託	予防委託	相談件数	サービス担当者会議	カンファレンス	住宅改修	福祉用具購入
4月	30	102	92				
5月	29	108	120	1		1	
6月	30	109	95	1	1	1	
7月	31	108	95	4		1	
8月	31	104	91	2		1	1
9月	31	105	92				
10月	34	101	110	2		1	1
11月	37	98	129			1	2
12月	40	94	97	3		1	
1月	42	92	154	2			
2月	44	90	154				1
3月	41	89	105	4		1	
合計	420	564	1,334	19	1	8	5

\*新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、サービス担当者会議・カンファレンスは開催されないことが多かった。

## 令和5年度 高齢者相談センターようか事業報告書

事業名 高齢者相談センターようか

事業実施場所 養父市八鹿町八鹿 1576

事業期間 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

事業内容 養父市地域包括支援センターの一部委託

(1) 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、初期段階での相談対応を行い、必要時速やかに申請手続きを実施し、ご本人・ご家族の選択に基づき公正中立に指定居宅介護支援事業所への紹介を行った。

八鹿地域は養父市の人口の4割を占めるが、相談件数も他地域より多く、相談センター4地域合計件数の3割強程度(新規相談)、5割弱程度(継続相談)を占める。

(2) 権利擁護業務

消費者相談センターから気になる方の情報提供をいただき、市と連携した。

(3) ケアマネジメント業務

要支援状態の軽減もしくは悪化の防止に努め、お一人お一人が生きがいのある生活を送ることができるよう、適切なサービスのケアマネジメントが行えるよう努めた。介護サービス以外のインフォーマルな資源や社会的処方も意識した。

(4) 介護保険サービス支援

適切に住宅改修や福祉用具の購入ができるよう、長寿の郷の派遣等専門職と相談等を行い、支援した。

(5) その他

令和4～6年度は養父地域・八鹿地域を社会福祉法人かるべの郷福祉会が受託。高齢者相談センターやぶと一緒に「認知症の人と家族の一体的支援」に取り組む。



実施内容

	(1) 総合相談支援業務			
	新規相談	継続相談	介護認定申請	居宅引継ぎ
4月	19	373	17	7
5月	14	387	15	19
6月	8	308	6	11
7月	15	289	10	7
8月	16	325	9	9
9月	14	306	15	9
10月	9	295	9	8
11月	13	230	11	6
12月	17	321	15	6
1月	14	302	7	7
2月	8	260	7	7
3月	8	328	12	10
合計	155	3,724	133	106

	(3) ケアマネジメント業務					(4) 介護保険サービス支援	
	予防受託	予防委託	相談件数	サービス担当者会議	カンファレンス	住宅改修	福祉用具購入
4月	29	117	118	3		1	
5月	29	118	148	2			
6月	32	121	214	3		2	
7月	30	123	189	1		1	
8月	30	124	178		1		
9月	28	121	147	1		1	
10月	29	120	140	3	1		1
11月	30	117	153	4		1	1
12月	30	117	201				
1月	30	119	168			1	
2月	28	117	148	2	1	1	
3月	28	119	179	3	2		
合計	353	1,433	1,983	22	5	8	2

\*新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、サービス担当者会議・カンファレンスは開催されないことが多かった。

## 令和5年度 相談センターpolaris 事業報告書

事業名 相談センターpolaris (養父市ひきこもり相談支援センター)

事業実施場所 養父市八鹿町八鹿 1576

事業期間 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

事業内容 養父市ひきこもり相談支援センターの設置・運營業務

### (1) 居場所の開設 (週5日)

月曜日から金曜日の週5日開設している。令和5年度には、実人数3名、延べ回数62回の利用があった。居場所を卒業し、アルバイトやボランティアに取り組みられた方、別の場所で自分の楽しみを見つけられた方もある。

### (2) 電話・来所相談への対応、訪問による相談

センター開設前からの相談も多くあり、電話や来所による相談を受けている。適宜訪問も行っている。関係者や周りからの相談では、本人や家族から訪問を断られることもある。

8050問題の方の相談をケアマネジャーから受けることがあり、ケアマネジャーから家族に相談場所を紹介してもらっている。

### (3) 家族・本人への支援

現在は、主に家族からの相談を受けることが多く、本人に会える状態になるまでに時間を要する。家族の話聞くことで、本人が変化されることもある。訪問では本人の好きなことを確認し、それに関する話題を提供するなど、本人との関係づくりに努めている。

精神疾患、発達障害をお持ちの方も多く、専門性が重要であると思われる。自分の生きづらさに悩まれた方に対して、健康医療課のカウンセリングを紹介し、発達障害についての診断につながった。

### (4) 市の開催する学習会、家族会等への協力

新型コロナウイルス感染症感染予防のため学習会の開催はなし。

### (5) 関係機関と連携し、進学・就労等の支援

居場所を利用していた男性が運転免許を取得し、アルバイトを昨年度開始されたが、まだ継続して頑張っておられる。

居場所利用中の方が40歳になるので…と就労を希望され、就労支援につなげた。次のステップに進むことが困難であるが、市や母と相談しながら、気長に伴走している。

### (6) 関係機関とのネットワーク会議の開催 (年2回以上)

養父市健康課・社会福祉課・生活困窮窓口・地域包括支援センター・学校教育課、朝来健康福祉事務所、養父市社会福祉協議会、兵庫ひきこもり相談支援センター但馬地域ランチドーナツの会と、各関係機関の取り組みについて情報共有を4月24日と1月19日に開催。

中学校・義務教育学校後期課程卒業生の担当や学級担任・養父市子ども学び課・スクールソーシャルワーカー・第一学院・養父市健康医療課・養父市社会福祉課と、「中学校・義務教育学校後期課程卒業生ひきこもり対策ネットワーク会議」を3月28日に開催し、令和5年度及び令和4年度の卒業生の現状について、情報共有を行い、今後何かあった時のネットワークの構築について相談した。

2/7に関係者と個別支援会議を開催し、今後の方針について相談した。

(7) 事業目的のための啓発活動

7/13に養父市大屋地域民生委員児童委員協議会連合会にて「ひきこもり及び8050問題」について説明し、地域で気になる方の相談場所について周知することができた。

(8) その他

厳密には「ひきこもり」状態ではないが、生きづらさを抱えているが、他に相談する場所もないと言った方の相談を受けることが増えてきている。

\*相談件数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
新規相談 (人)			1	1			2	
継続相談 (人)	3	4	8	4	4	6	29	
電話 (件)	1	2	10	6	2	7	28	
来所 (件)	6	6	8	6	6	5	37	
訪問 (件)							0	
その他 (件)				1	1		2	
居場所利用(回)	6	6	5	5	5	5	32	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間計
新規相談 (人)			1				1	3
継続相談 (人)	4	5	6	7	3	6	31	60
電話 (件)	2	4	7	10	5	2	30	58
来所 (件)	5	7	5	6	5	5	33	70
訪問 (件)			2				2	2
その他 (件)		2	2	7	4	3	18	20
居場所利用(回)	5	7	4	5	4	5	30	62

八鹿	18	養父	9	関宮	4	大屋	4
----	----	----	---	----	---	----	---

ひきこもり開始時期			
中学校から不登校	7	中学卒業後	2
高校不登校から休学・退学	3	高校卒業後	4
大学不登校から休学・退学	2	その他	2

職場離脱	9		不明	6
年代	男	女	不明	合計
～18歳			1	1
19歳～39歳	9	11		20
40歳～49歳	4			4
50歳～64歳	7	3		10
不明				0

# 令和5年度 かるべの郷ホームヘルパーステーション事業報告

## 1. 事業の運営方針について

「社是」「行動指針」「社訓」に基づき、法令を遵守しながら、お客様のお気持ちに寄り添えるサービスの提供に努めた。

お客様の健康や尊厳を大切にしながら、本来お持ちの力を活用し、ご自宅で自立した生活が継続出来るように関わった。

## 2. サービスの質の向上について

- ・ヒヤリハット、苦情を共有し、支援内容を振り返った。
- ・コロナ感染症対策を継続し、手洗い、消毒、マスクの交換を細やかに行い、お客様が安心して訪問を受け入れてくださるよう努めた。
- ・職員が一堂に会する機会が少なく、情報共有を意識した。今後も改善に努める。

## 3. 職場環境について

- ・職員会議や日々のミーティングで自分達の支援方法について話し合い、改善に努めた。
- ・コロナ感染症対策という意識を持ち、お互いに職員の体調確認を心掛けた。
- ・かるべの郷の職員として責任を持ち、何事も積極的に取り組んだ。

### 【研修会】

日付	研修名	場所	人数
04月01日	かるべの郷の運営方針について	かるべの郷	4
04月20日	法令遵守・職業倫理について	ヘルパー事務所	9
05月29日	記録について	ヘルパー事務所	9
06月12日	認知症当事者丹野智文氏に学ぶ（オンライン）	かるべの郷	4
06月26日	訪問ケア内容について	ヘルパー事務所	9
07月26日	コミュニケーションについて	ヘルパー事務所	9
08月17日	コミュニケーションについて	ヘルパー事務所	9
09月18日	認知症ケア～今と共に楽しむ～	ガーデンリビング	2
09月25日	感染症及び災害時に係る業務継続計画について	ヘルパー事務所	9
10月28日	生活援助について	ヘルパー事務所	9
11月23日	感染症について	ヘルパー事務所	9
12月28日	緊急時の対応・安全運転について	ヘルパー事務所	9
01月30日	BPSDについて	ヘルパー事務所	9
02月23日	苦情について法改正について	ヘルパー事務所	9
03月29日	虐待について	ヘルパー事務所	9

#### 4. 令和5年度利用実績

月	介 護			総合事業		障 が い				合計時間	加算	
	身体	身体生活	生活	訪問型(養父)	生活機能向上	身体	家事	同行援護	移動支援		初回	緊急
4	306.5	110.0	4.0	42.0		18.0	47.0	10.5		538.0	3	2
5	335.5	106.5	4.0	41.0		24.5	48.5	3.5		563.5	3	
6	334.0	116.0	5.0	32.0		24.0	45.0	8.0		564.0	3	1
7	297.5	101.5	4.0	41.0		27.5	51.5	6.0		529.0	3	
8	280.0	101.5	5.0	41.0		25.0	52.0	7.5		512.0	1	2
9	294.5	102.5	4.0	42.0		24.0	54.5	3.5		525.0	6	1
10	323.0	132.0	4.0	41.0		20.0	60.0	10.0		590.0	5	
11	320.5	141.5	9.0	49.0		20.5	56.5	6.0		603.0	5	
12	328.0	148.0	6.0	39.0	1.0	25.0	59.5	9.0		615.5	5	1
1	288.0	118.5	8.0	43.0		36.5	59.5	4.0		557.5	4	1
2	261.0	120.5	13.0	54.0		39.0	55.5			543.0	4	
3	301.5	115.5	6.0	48.0		40.5	62.5	7.7		581.7	3	1
計	3670.0	1414.0	72.0	513.0	1.0	324.5	652.0	75.7	0	6722.2	45	9

(時間数：加算は回数)

令和5年度終了者 32件

(施設入所8件、死亡10件、緩和ケア等入院8件、お客様ご都合6件)

看取り介護のケースも積極的に受け入れたが、最期は入院される方がほとんどであった。施設入所や入院により終了となったケースも多くあった。

新規については訪問時間を調整しながら積極的に受け入れた。

#### 5. 要介護度別・障がい区分別利用実績

介 護	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
実人数	1	8	12	26	29	23	14	11	124
延件数	1	258	266	1862	1554	2323	867	766	7897

居宅介護	障がい児	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
実人数		1	4	3	2		1	11
延件数		2	229	225	353		128	967
同行援護	障がい児	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
実人数					1			1
延件数					17			17

## 令和5年度 かるべの郷ドリームワークス事業報告

### 1. 事業について

「社是」「社訓」「行動指針」に基づき、お客様、ご家族様、地域の皆様に喜んでいただけるサービスの提供に取り組んだ。

ひとりひとりのニーズに合わせ、お客様にとってやりがいのある仕事の間、望む生活に向けて挑戦ができる場、安らげる憩いの場をいかに創っていくかを考え、安心できる環境の中でまた利用したいと思って頂けるような事業所であるように努めた。また、お客様が地域と繋がりながら社会生活をスムーズに行えるように支援してきた。

### 2. 作業内容について

お客様のニーズや強みに合ったやりがいのある仕事を提供するように務めた。外注作業では前年度に引き続き(株)ハピネス、住環境システム協同組合、神戸紅茶(株)、ル・フルーヴ、やぶ市民交流広場、ドリームアマゾンの配送準備作業等に加え、但馬ティエスケイ(株)、(株)佳長の作業が増えた。今年度も作業が効率よく行えるように適宜検討しながら、工賃向上を目指した。

3か月に1回仕事評価を行い、お客様の意欲の向上に努めた。

#### 令和4年度作業内容

分類	内容	時期等
法人内	洗車・窓ふき・清掃(居室、厨房等)、草取り	通年
地域貢献	地域清掃	通年
養父市	やぶ市民交流広場清掃	適宜
寺院関係	除草作業、墓地清掃作業	適宜
農業	露地野菜・椎茸・山椒・盆花・ハスの花・葉牡丹・肥料づくり等	適宜
販売	養父市社会福祉協議会、ベジフルやぶ、その他外部	通年
外部	洗車(個人3件)、(株)西村公益社(清掃)、除草作業(個人宅等2か所)、墓地清掃(個人宅1か所) 清掃作業(個人宅3か所) 神戸紅茶(株)樽正事業部(果物カット等の下処理作業、工場内作業) 住環境システム協同組合(レタスの水耕栽培の補助作業、山椒の収穫他)	適宜  通年
内職	(株)ハピネス(腰ひも・草履清掃等) (株)西村公益社(寺かき物)・ル・フルーヴ(箱折り、シール貼り) ドリームアマゾン店(配送準備)、(株)但馬ティエスケイ(バリ取り) (株)佳長(箱折り)	通年

### 3. 活動について

今年度は2名のお客様が一般就労をされた。うち1名は相談支援事業所や障害者就業・生活支援センター、アグウェルやぶと連携を図り、職場実習とトライアル雇用期間中に仕事の振り返りや実習先への訪問支援を行ったことで就労に繋がった。

今年度も感染症予防研修会や虐待防止研修を行い、知識を深めて適切な対応ができるように務めた。

その他として、前年度と同様に誕生日会は働きたいというお客様からの要望を受けて、誕生日会はせずにケーキを準備して召し上がって頂いた。

#### 令和5年度年間行事

月	内容	月	内容
4月	11周年記念(お花見会)	10月	市民ドッグ
5月	誕生会・消防訓練	11月	消防訓練
6月	お楽しみ会、七夕イベント	12月	忘年会(ビンゴ大会)
7月	なし	1月	初詣・十日えびす、外出行事
8月	なし	2月	バレンタインデー
9月	収穫祭	3月	なし

### 4. 職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、月ごとに目標を立て職員一人ひとりが行動を振り返り改善できるように努めた。

### 5. 利用人数について

今年度は医療機関や福祉事務所、相談支援事業所からの紹介を受け、新しく利用された方は13名、体調不良や家庭の事情、施設入所等の理由で利用が終了した方が11名おられた。

年間通して入院や体調不良・家庭の事情等で休まれた方が8名おられた。前年度と比較して延べ利用者数は増加したが、1日平均利用者数はやや減少した。

#### 平均利用人数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	21	23	22	21	23	21	23	22	21	21	20	22	260
利用者数	1,071	1,154	1,127	1,038	1,094	1,024	1,102	1,044	1,046	1,057	973	1,072	12,802
1日平均	51.00	50.17	51.22	49.42	47.56	48.76	47.91	47.45	49.80	50.33	48.65	48.72	49.23



## 令和5年度 かるべの郷ドリーム相談所事業報告

『社是』『行動指針』『社訓』を遵守できるように業務を遂行し、お客様が安心して地域で暮らしていくことができるよう、体調や生活状況等を確認、必要に応じて関係機関とも連携を図りながら、親切・丁寧・迅速な対応に努めた。

令和5年度は計画相談116名、障がい児相談22名、相談支援事業64名の依頼を受け、計829件(内訳 計画相談646件、障がい児相談65件、地域移行支援40件、地域定着支援78件)の給付管理を行った。

### 1. マネジメント内容について

今年度もお客様の生活状況や環境に合わせて関係機関と相談しながらモニタリング頻度を設定し、サービスの利用状況や調整が必要となるところがないか等を確認できるようにした。また、モニタリングでお客様やご家族様の思いを聞き再アセスメントすることによって、よりよいサービスの提供に繋がられるように努めた。

更に、障がい福祉サービスの利用を考慮しておられるお客様だけでなく、現在はサービス利用を考慮してもらえない方であっても養父市と新たに朝来市の相談支援事業を受託し幅広い内容の相談支援を行ってきた。

一般相談支援の地域移行支援は令和5年度中に9名利用されたが、その内6名が退院することができた。

### 2. 相談支援専門員の資質の向上について

『社是』『社訓』『行動指針』に基づいた行動を心がけ、積極的に施設内外の研修に参加する他、職員同士で研鑽し、人間力を高めることができるように努めた。隔月で開催される但馬圏域基幹相談支援センター及び主任相談支援専門員連絡会や養父市内の相談支援専門員が集まる「やぶばた会議」に参加し、市・相談支援事業所・健康福祉事務所との情報交換やケース検討を行いながら、スキルアップに努めた。更に、精神科病院の長期入院患者の退院促進を行う為に開催する精神障害者地域移行・地域定着戦略会議にも参加した。健康福祉事務所と但馬の精神科病院と各市町の社会福祉課との情報交換・共有ができ、今年度も地域移行支援に携わることができた。退院された方や地域で生活されている方の多くが但馬病院への通院や訪問看護を利用されていることもあり、必要時に適宜情報交換を行うことで連携を深め、より良い支援につなげた。

養父市自立支援協議会では全体会、運営会議の構成員として運営や地域の実情に応じた体制の整備について協議した。今年度もしごと部会、まちづくり部会と二つの部会に所属し、それぞれの地域課題を把握し、誰もが住みよい街づくりに繋がられるように検討してきた。

今年度は、相談支援専門員に受講が義務づけられている兵庫県相談支援従事者現任者研修の企画構成委員や兵庫県相談支援従事者初任者研修のファシリテーターを努め、県下の相談支援専門員の養成や資質の向上に寄与した。

今年度より朝来市障害者相談支援事業を受託したことから朝来市の主任相談支援専門員連絡会、相談支援専門員連絡会へも参加した。

また、主任相談支援専門員を配置している事業所として養父市と朝来市の基幹相談支援センターとの連携、養父市・朝来市内の相談支援専門員への助言や資質の向上を目的とした研修の企画をしてきた。

また2月26日から3月9日まで全国社会福祉協議会からの派遣要請を受け石川県輪島市、穴水町、能登町にて居宅訪問を行い生活状況の確認等の活動を行った。

#### 【会議】

4月5日	第1回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
4月7日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
4月13日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	福祉のまちづくり研究所
4月14日	やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
4月19日	第1回但馬圏域連絡会	日高健康福祉センター
4月19日	第10回養父市自立支援協議会 しごと部会	養父市公民館
4月20日	朝来市相談支援専門員連絡会打ち合わせ	朝来市役所
4月21日	養父市自立支援協議会報告検討会議	養父市役所
4月26日	第10回養父市自立支援協議会 まちづくり部会	養父公民館
5月2日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
5月10日	第2回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
5月11日	第1回朝来市相談支援専門員連絡会	朝来市役所
5月12日	養父市自立支援協議会まちづくり部会 講演会	みふね会館
5月17日	第11回 養父市自立支援協議会しごと部会	YB ファブ
5月17日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	オンライン
5月17日	令和5年度朝来市障害者自立支援協議会専門部会 精神障害者家族会検討部会	朝来市役所
5月19日	やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
5月24日	第11回 養父市自立支援協議会 まちづくり部会	養父公民館
5月26日	兵庫県精神障害者地域移行・地域定着支援事業推進連絡会議	オンライン
6月1日	第2回朝来市相談支援専門員連絡会	朝来市役所
6月2日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
6月7日	第3回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
6月8日	第2回朝来市相談支援専門員連絡会	朝来市役所
6月9日	やぶばた会議	養父市役所

6月13日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	オンライン
6月14日	養父市自立支援協議会 まちづくり部会	YB ファブ
6月21日	第2回但馬圏域連絡会	YB ファブ
6月22日	兵庫県主任相談支援専門員養成研修打ち合わせ	オンライン
6月23日	兵庫県サービス管理責任者研修打ち合わせ	オンライン
6月28日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	オンライン
6月30日	第4回養父市自立支援協議会運営会議	養父市役所
7月3日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	みつみ福祉会
7月5日	第4回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
7月6日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
7月7日	兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	福祉のまちづくり研究所
7月11日	兵庫県相談支援従事者現任研修	オンライン
7月13日	第3回朝来市相談支援専門員連絡会	朝来市役所
7月18日	養父市自立支援協議会まちづくり部会 講演会	関宮地域局
7月20日	令和5年度第1回朝来市障害者自立支援協議会	さんとう緑風ホール
7月21日	令和5年度朝来市障害者自立支援協議会専門部会 精神障害者家族会検討部会	朝来市役所
7月25日	第1回朝来市障害者計画等策定部会	朝来市役所
7月27日	第2回養父市自立支援協議会全体会議	養父公民館
8月2日	第5回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
8月7日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	オンライン
8月10日	第4回 朝来市相談支援専門員連絡会	和田山生涯学習センター
8月10日	兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	福祉のまちづくり研究所
8月18日	やぶばた会議	YB ファブ
8月23日	養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父公民館
9月4日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
9月6日	第6回 精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
9月8日	第1回但馬圏域精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	但馬長寿の郷
9月8日	やぶばた会議	YB ファブ
9月11日	兵庫県相談支援従事者初任者研修打ち合わせ会	福祉のまちづくり研究所
9月14日	令和5年度朝来市障害者自立支援協議会専門部会 精神障害者家族会検討部会（第4回）	朝来市役所
9月26日	第2回朝来市障害者計画等策定部会	さんとう緑風ホール
9月27日	養父市自立支援協議会まちづくり部会	YB ファブ中会議
9月29日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会振り返り	相談支援事業所はんど
10月4日	第7回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
10月6日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ

10月12日	第6回朝来市相談支援専門員連絡会	和田山生涯学習センター
10月13日	やぶばた会議	養父市役所
10月19日	養父市自立支援協議会まちづくり部会	YB ファブ
10月20日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	オンライン
10月20日	兵庫県相談支援従事者初任者研修全体打ち合わせ会	福祉のまちづくり研究所
10月25日	養父市自立支援協議会まちづくり部会 第4回つながりの会	YB ファブ
10月26日	第1回朝来市障害者自立支援協議会専門部会 (課題抽出部会)	朝来市役所
11月2日	養父市自立支援協議会臨時運営会議	YB ファブ
11月4日	第8回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
11月7日	朝来市基幹相談支援センターミーティング	朝来市役所
11月10日	第7回朝来市相談支援専門員連絡会	朝来市保健センター
11月13日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	オンライン
11月14日	第5回養父市自立支援協議会運営会議	YB ファブ
11月22日	第16回養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父公民館
11月27日	第2回朝来市障害者自立支援協議会専門部会 (課題抽出部会)	朝来市役所
12月6日	第9回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
12月8日	やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
12月18日	第1回養父市地域生活支援拠点検討部会	養父市社会福祉協議会
11月29日	第1回朝来市障害者計画等策定部会	山東生涯学習センター
12月27日	養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父公民館
1月5日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
1月10日	第10回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
1月12日	やぶばた会議	養父市役所
1月15日	兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ	福祉のまちづくり研究所
1月19日	第6回養父市自立支援協議会運営会議	養父市役所
1月19日	令和5年度朝来市障害者自立支援協議会専門部会 精神障害者家族会検討部会(第5回)	朝来市役所
1月22日	第2回養父市地域生活支援拠点検討部会	養父市社会福祉協議会
1月23日	兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ	福祉のまちづくり研究所
2月1日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
2月7日	第11回 精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
2月8日	第9回朝来市相談支援専門員連絡会	和田山生涯学習センター
2月26日	やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
3月1日	第1回朝来市障害者計画等策定部会	山東生涯学習センター

3月4日	養父市主任相談支援専門員連絡会議	YB ファブ
3月4日	第7回養父市自立支援協議会運営会議	YB ファブ
3月6日	第12回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
3月8日	第2回精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	但馬長寿の郷
3月13日	令和5年度朝来市障害者自立支援協議会専門部会	和田山生涯学習センター
3月13日	令和5年度朝来市障害者自立支援協議会専門部会 精神障害者家族会検討部会	和田山生涯学習センター
3月14日	朝来市主任相談支援専門連絡会議	朝来市役所
3月14日	養父市自立支援協議会第3回全体会	YB ファブ
3月14日	第10回朝来市相談支援専門員連絡会	和田山生涯学習センター
3月18日	令和5年度第2回朝来市障害者自立支援協議会	朝来市役所
3月22日	兵庫県相談支援従事者現任研修企画構成委員会	はんど

【研修】

5月31日	第1回但馬圏域ベイシッククラス研修会	日高健康福祉センター
7月18日	兵庫県相談支援従事者現任研修	加古川総合福祉会館
7月19日	兵庫県相談支援従事者現任研修	加古川総合福祉会館
7月21日	兵庫県相談支援従事者現任研修	加古川総合福祉会館
8月22日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	オンライン
8月23日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	オンライン
8月24日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	オンライン
8月29日	兵庫県相談支援従事者現任研修	加古川総合福祉会館
8月30日	兵庫県相談支援従事者現任研修	加古川総合福祉会館
8月31日	兵庫県相談支援従事者現任研修	加古川総合福祉会館
9月15日	障がい者雇用フェスタひょうご2023	ハーバーホール
9月21日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	福祉のまちづくり研究所
9月22日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	福祉のまちづくり研究所
10月11日	精神障害者当事者のピアサポーターをみんなで考える会	但馬長寿の郷
10月13日	障がいと介護をつなぐ事例検討会	YB ファブ
10月17日	養父市ゆうきの会家族会公開講座	但馬長寿の郷
10月19日	ケアマネジメント支援会議	朝来老人福祉保健センター
10月30日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	福祉のまちづくり研究所
11月1日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	福祉のまちづくり研究所
11月2日	兵庫県相談支援従事者初任者研修	福祉のまちづくり研究所
11月22日	第3回但馬圏域ベイシッククラス研修会	日高健康福祉センター
12月8日	養父市人権フェスティバル	ピバホール
12月19日	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	オンライン
12月20日	但馬地区精神保健福祉研修会	村岡老人福祉センター

2月8日	兵庫県相談支援従事者現任研修	オンライン
2月14日	兵庫県相談支援従事者現任研修	福祉のまちづくり研究所
2月15日	兵庫県相談支援従事者現任研修	福祉のまちづくり研究所
2月16日	兵庫県相談支援従事者現任研修	福祉のまちづくり研究所
2月16日	養父市人権教育推進協議会養父支部	養父公民館 A 研修室
2月28日	第4回但馬圏域ベイシッククラス研修会	日高健康福祉センター
2月28日	兵庫県相談支援従事者現任研修	福祉のまちづくり研究所
2月29日	兵庫県相談支援従事者現任研修	福祉のまちづくり研究所
3月1日	兵庫県相談支援従事者現任研修	福祉のまちづくり研究所
3月21日	兵庫県中小企業家同友会	モントレ姫路

### 3. ピアサポーターの活動について

今年度も豊岡・朝来健康福祉事務所、生活支援センターほおずき、ぷろじえくと Plus と共同してピアサポーターの養成を目的に研修会「精神障害者当事者のピアサポートをみんなで考える会」を行った。本研修においては雇用には繋がらなかったが利用者のニーズに合わせドリーム相談所独自で1名の雇用を行った。

今年度も兵庫県の委託を受け『兵庫県精神障害者地域移行推進事業』にも取り組んだ。

また法人全体として障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度である『もにす認定』を受け、個人としても藤本武宏ピアサポーターが努力賞を受賞した。

#### 【院内説明会】

コロナ禍ではあるが但馬病院の協力もあり毎月開催できた。自由参加型で月ごとに各病棟を交互に回っている。退院意欲の喚起や維持のために、退院前の準備や退院後の生活等について、参加された方が聞きたい話を主として質疑応答を行った。また、タブレットや事前に編集した紹介動画を活用して養護老人ホームやグループホーム、就労継続支援 B 型事業所を紹介してきた。今年度も生活支援センターほおずきと共同し、年3回全病棟を対象にした合同院内説明会を開催した。今年度は合計59名の方が参加し、うち8名が退院された。

#### 【個別支援】

ピアサポーターと一緒に、地域移行支援を契約したお客様に退院支援を実施した。担当のピアサポーターが入院されているお客様に訪問し、福祉サービスの見学や外出支援等の必要なサービスを一緒に考え、相談しながら退院に向けて具体的な準備を行った。

今年度は2名の方と関わり、2名とも退院された。

#### 【講演会・啓発活動】

但馬圏内の高校の学生や民生委員児童委員、地域の方に対し、ピアサポーター自身の病気の体験やリカバリーストーリー、地域生活の実情等の啓発活動を行った。

実施日	講演名
5月12日	八鹿地区民児協におけるまちづくり部会講演会
6月7日	公衆衛生看護実習(兵庫県立大学看護学部)
7月5日	公衆衛生看護実習(武庫川女子大学大学院看護学部)
7月12日	養父地区民児協におけるまちづくり部会講演会
7月18日	民生児童協力委員・民生児童委員合同研修会(関宮地区)
10月12日	養父市人協大屋支部・大屋民生委員児童委員協議会合同研修会
11月16日	高等学校におけるピアサポーターを活用した精神保健教育について (県立八鹿高等学校一年生)
12月19日	高等学校におけるピアサポーターを活用した精神保健教育について (県立但馬農業高等学校全校生)

#### 4. 給付管理を行った件数

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	62	47	56	54	54	62	53	51	55	52	50	50	646
障がい児	6	5	4	5	5	6	8	3	6	8	4	5	65
地域移行	2	3	4	4	4	7	4	4	4	2	0	2	40
地域定着	10	10	7	6	4	5	6	6	6	6	6	6	78

#### 5. 障がい別利用者人数

計画相談（給付管理を行ったお客様）（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障がい	障がい児	合計
実人数	14	16	82	3	0	1	22	138

障害者相談支援事業（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障がい	障がい児	合計
養父市	6	7	23	3	0	0	6	45
朝来市	2	6	11	0	0	0	0	19

## 令和5年度 かるべの郷ドリームブリッジ事業報告

### 1. 事業について

精神科病院やグループホームなどの生活を経て一人暮らしをしているお客様に対し、地域において自立した生活が送れるよう、定期的な居宅訪問や緊急時支援を行い、円滑な地域生活に向けた相談・助言などを行う事業であるが、今年度は病院やグループホームからアパートや自宅へ戻られた等の対象のお客様がおられず、ご利用がなかった。

### 2. 利用者人数推移

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

対象者(人)

	退所等から1年未満	退所等から1年以上
利用者数	0	0

### 3. 支援を行った件数

(件)

	定期訪問	同行支援	緊急時支援	合計
回数	0	0	0	0



# 令和5年度 かるべの郷グループホーム夢一事業報告

## 1. サービス内容について

令和5年9月に新たにグループホームゆめよんを開設し、定員に達した為に利用ができず、精神科病院からの退院を諦めていた方にも利用していただくことができました。

アパートや自宅への地域移行に向けた取り組みとして、外泊時に訪問し、自宅での生活のイメージを共有して、必要な準備、助言を行った。今年度は地域での生活に移行されたお客様はおられなかった。

ピアサポーターがグループホームへの訪問、個別面談を行っているため、ピアサポーターとの連携を意識した。日頃から、ピアサポーターと職員同士が連携を図り、ピアミーティングにも参加し情報共有を行った。

地域の中にある事業所として、ふれあい喫茶、十日えびすなどの行事や養父市防災訓練にも地域住民として地域と連携しながら参加することができた。他にも近所の商店、関係機関等に受け入れていただけるよう顔の見える関係づくりに努めた。

月に1度日にちを決めて、夢一、夢二、ゆめよんは居室訪問、夢三は利用者ミーティングを行った。お客様の生活の様子や意見、要望を聞き取りサービス向上に努めた。

お客様のご希望を伺いながら、施設内では季節にあった食事の提供、施設外では福知山へ日帰り外出をし、お客様同士の親交や気分転換を図ることができた。

## 2. 職場環境について

各棟にリーダーとなる職員を配置し、毎月会議を開催した。会議内容が全ての職員に共有が出来るように努めた。

虐待防止対応研修や感染症研修でのロールプレイを通して支援の方法を再確認した。

職員間でこまめに声をかけ合い不安や困っている事の共有に努め支援に活かした。

## 3. 利用者人数推移

夢一	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	9	8	8	8	8	7	7	8	9	9	9	8
体験	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
夢二	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	11	11	10	10	10	10	10	10	8	9	9	8
体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夢三	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	6	6	6	5	6	6	7	7	5	7	7	6
体験	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0

ゆめよん	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約						1	2	2	2	2	2	3
体験						1	1	0	0	0	0	0

利用者内訳(令和6年3月末時点)

区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
夢一	0	0	2	2	4	1	0
夢二	0	0	1	6	3	0	0
夢三	0	0	0	6	0	0	0
ゆめよん	0	0	0	2	1	0	0

障がい種別	精神障がい	知的障がい	身体障がい
人数	22	3	0

# 令和5年度 かるべの郷多機能型事業所ドリームスペース事業報告

## 1. 事業について

「社是」「社訓」「行動指針」に基づき、お客様・ご家族様・地域の皆様に喜んでいただけるサービスの提供に取り組んだ。就労継続支援B型事業・生活介護事業ともに、やりがいのある仕事の間であると共に安心して過ごせる場になるよう努めた。

## 2. サービス内容について

### 【就労継続支援B型事業】

体調に合わせた作業を提供できるように作業の種類を増やし、お客様に安心して通って頂ける環境を整えた。

作業への取り組む姿勢などの評価を3ヶ月に1回行う事で、お客様のやりがいや一般就労に必要なスキル向上に繋がる支援に努めた。

### 令和5年度作業内容

分類	内容	時期等
法人内	洗車・清掃（居室・浴室・ベランダ等）・空気清浄器清掃・除草作業・環境消毒	通年
農業	肥料づくり、除草作業	適宜
外部	除草作業（寺院2か所）（個人宅1か所） 施餓鬼旗（寺院10か所）・御札作り（寺院2か所） 八鹿名店街協同組合（清掃作業）・やぶ市民交流広場（除草、清掃作業）	通年

### 【生活介護事業】

自宅やグループホームでの生活を維持する事ができるよう、食後の食器洗いや洗濯物たたみ等の日常生活上の機能訓練や、理学療法士から指導を受けた個別のリハビリメニューへの取り組みや、口腔体操・散歩を通して体を動かす事で身体機能や生活能力の向上に必要な支援を行った。

## 3. 活動について

感染症対策として、毎日の検温や体調の確認、手指・環境食毒を行いお客様に安心してご利用いただけるように努めた。また、市民ドックへの参加を勧めるなどお客様の健康維持に繋がる支援を行った。

【就労継続支援 B 型事業】

作業だけではなくお客様同士の交流の場として、誕生会などの行事を計画してきた。悩み事や心配事等の相談に迅速に対応し、安心して通えるような環境整備に努めた。

【生活介護事業】

入浴や排泄および食事等の身体介助を提供する中で、楽しみを持った生活が継続できるよう、季節に合わせた行事を計画した。

4月	誕生会、お花見ドライブ	10月	ぜんざいの提供、市民ドック参加
5月	誕生会、柏餅の提供	11月	誕生会、消防訓練
6月	誕生会、消防訓練、出前講座	12月	誕生会、忘年会、クリスマス
7月	誕生会、七夕	1月	誕生会、初詣
8月	誕生会、夏の食事会	2月	誕生会、買い物外出
9月	誕生会	3月	誕生会、ひな祭り、買い物外出

4. 職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、月ごとに目標を立て、振り返りを行う事で職員一人一人の行動を改善できるように努めた。

5. 利用人数について

今年度、就労継続支援 B 型事業では 6 名の方が新規利用され、事業所の変更や入院治療の為 5 名の方が終了された。また、生活介護事業では 3 名の方が新規利用され、入院治療や介護保険への移行などで 4 名の方が終了された。各事業所にお客様の声を聞きやすくできるようご意見箱を設置する事で、思いを伝えやすい環境を整えている。

『平均利用人数(人)』

就労継続支援 B 型 (定員 14 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	21	23	22	21	23	21	22	22	21	21	20	22	259
利用者数	239	291	281	259	263	263	307	293	269	234	226	226	3,151
1日平均	11.39	12.66	12.78	12.34	11.44	12.53	13.96	13.32	12.81	11.15	11.30	10.28	12.2

生活介護 (定員 6 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	21	23	22	21	23	21	22	22	21	21	20	22	259
利用者数	131	133	102	97	117	103	105	95	96	83	83	101	1,246
1日平均	6.24	5.79	4.64	4.62	5.09	4.91	4.78	4.32	4.58	3.96	4.15	4.60	4.82

# 令和5年度 かるべの郷放課後等デイサービス事業報告

## 1. 事業について

お客様が持つ力を発揮し健全に発達していけるよう、個別のニーズや発達段階に合わせた支援計画を考え、個別・集団での活動メニューや専門的な訓練プログラムを提供し実施した。効果的に発達を促進する為、お客様が楽しんで活動を行えるよう工夫を行った。また権利擁護に着目し、必要性のあるご家庭に関しては関係機関と密に連携し、ご家庭やお客様の困りごとが解決できるよう努めた。不登校のお子さんの相談を受け、関係機関の紹介、居場所作りといった必要な対応を行った。

## 2. サービス内容について

- ・全身を大きく使う運動プログラムや手先等の細かい運動の訓練を行うことにより、身体感覚の向上を目指し、支援を行った。
- ・ダンスタイムを設け音楽と触れ合いながら自由に体を動かし、運動能力・知能の向上を促せるよう支援を行った。
- ・広谷小学校の体育館を定期的に借りられるよう教育委員会に団体登録し、広い場所で安全に体を動かせる機会を作った。
- ・希望されるお客様に対し言語聴覚士による構音検査・言語訓練を行った。
- ・地域のイベントへの参加、年中行事や催し物を実施し文化や伝統に触れる機会を作った。
- ・他者との関わり方の練習としてソーシャルスキルトレーニングを行い、学校や日常生活での困りごとの解決に向け支援を行った。
- ・コミュニケーション面で困難さをお持ちの方に対し、安心して過ごせる環境作りやスケジュールの設定を行った。また絵カードや写真、現物提示等のわかりやすいコミュニケーション方法を模索し実践した。
- ・創作活動を通し、表現する力や感性を育んだ。
- ・アップライトピアノを活用し実際の楽器の音に触れる機会を作ることで、表現力や感受性を伸ばしていけるようアプローチした。
- ・個別の発達段階に沿った自立課題及び活動を提供し、発達を促した。
- ・ご利用されるご家族様にアンケートを実施し、サービスの評価をしていただいた上で改善案を提示・公開し取り組んだ。
- ・お客様・ご家族様・学校・他機関と情報を共有し、一体的に支援が行われるように努めた。
- ・ご家族様の相談に応じ、お客様一人一人の特徴を踏まえた効果的な支援方法について助言した。
- ・集団での活動が苦手な方には別室での対応を行うなど、安心して通所していただけるよう

努めた。

#### 令和5年度年間行事

4月	花見・鯉のぼり制作・クッキング・誕生会・外出・季節の壁飾り作り
5月	端午の節句週間・母の日制作・クッキング・誕生会・季節の壁飾り作り
6月	虫歯予防週間・絵本タイム・季節の壁飾り作り、テント遊び
7月	七夕週間・消防訓練・鉄棒遊び・絵本タイム・ダンボール制作・野菜作り
8月	夏祭り・スイカ割り遊び・プール遊び・野菜作り・BBQ・川遊び
9月	運動週間・敬老の日プレゼント作り・しおり作り・誕生会
10月	ミニ運動会・ハロウィンパーティー・外出・誕生会・制作
11月	制作・絵本タイム・紅葉狩り・消防訓練・季節の壁飾り作り
12月	クリスマス飾り制作、クリスマス会・大掃除・外出・誕生会・お正月制作
1月	初詣・巨大カルタ遊び・獅子舞・雪遊び・新聞紙遊び
2月	節分週間・豆まきで鬼退治・外出・誕生会・避難経路確認
3月	ひな祭り週間・運動週間・外出・ダム見学・誕生会・

### 3. 職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるよう、また自己研鑽に励み専門性を身につけられるよう資格取得や研修への参加を推進した。

特別支援学校を見学させていただき、支援方法について先生と意見交換を実施し学びを得た。

ご家族様へアンケートを実施しサービスの評価をしていただいた。その結果を集計し職員の資質やサービスの質の向上に活用した。

職員それぞれが疑問に思うことを書きだしそれに対して検討を行うことでサービスの質の向上、職員の資質の向上に繋がるよう努めた。

### 4. 利用人数について

新型コロナやインフルエンザの流行もあり欠席される方が目立った。サービスの必要性を求める声自体は依然として高い。ごお客様のご希望に沿えるよう送迎の時間なども工夫し安心してご利用して頂けるよう努めた。今年度新規5名、終了者4名であった。

#### 『平均利用人数(人)』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	25	27	26	26	26	26	26	26	25	25	25	26	309
利用者数	232	238	232	230	228	233	229	219	225	209	213	245	2733
1日平均	9.28	8.82	8.93	8.85	8.77	8.97	8.81	8.43	9.00	9.36	8.52	9.47	8.85

社会福祉法人かるべの郷福祉会 令和5年度事業報告

令和6年5月発行



社会福祉法人 かるべの郷福祉会